

平成28年 卒業研究論文

疑似ラインセンサーを用いた  
S P レコード音検出

北海学園大学工学部 電子情報工学科  
魚住研究室

4513213

クーン・トビアス

2016年10月11日

# 目 次

第 1 章	TODO	2
第 2 章	Document Flow	3
第 3 章	環境	4
3.1	はじめに . . . . .	4
3.2	問題分析 . . . . .	4

# 第1章 TODO

These are the things we need to get done:

- 実験環境について説明する [ ]
- 実験環境の図を描く [OK]
- こんな実験環境でデータを集めると何が問題になるか説明する [ ]
- 問題を説明する幾何学図を描く [ ]

## 第2章 Document Flow

Here some thoughts on the flow of this document:

- explaining the setup.
- explaining the ways of getting the data.
- The author chose method 疑似ラインセンサ！
- explaining the problems.

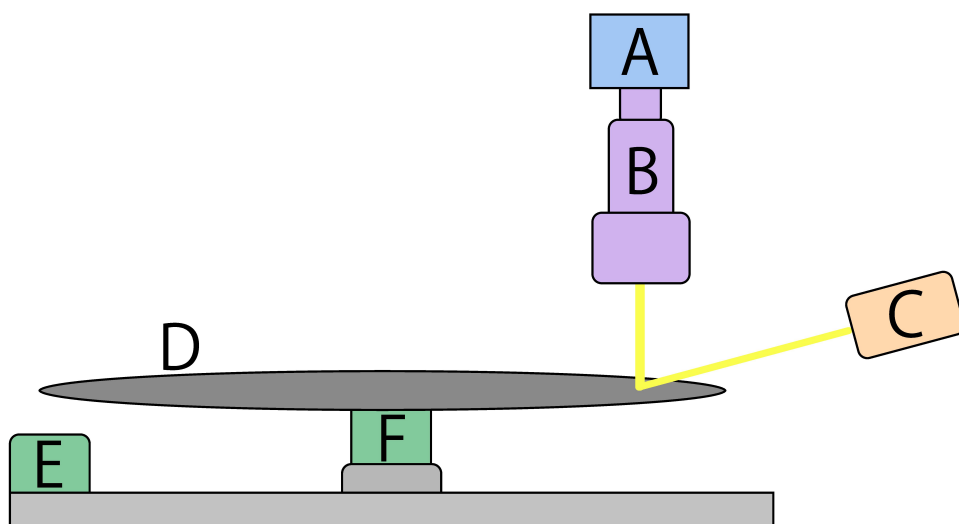
**問題 1 : 重なり部分** 文章が来るぜ。

- showing the solutions.

## 第3章 環境

日本語の中の英語 (eigo) はどうなるのでしょうか。L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X の基本的な使い方について説明する．ここでは，特に，様々な「環境」を紹介し，さらに，数学記号や数式の表現方法についても説明する．

### 3.1 はじめに



### 3.2 問題分析